

アジア・ヘルスケア株式ファンド

運用報告書（全体版）

第23期（決算日 2026年6月22日）

受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。
「アジア・ヘルスケア株式ファンド」は、2026年6月22日に第23期の決算を行ないましたので、期中の運用状況をご報告申し上げます。
今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

当ファンドの仕組みは次の通りです。

商品分類	追加型投信／海外／株式
信託期間	2015年1月16日から原則無期限です。
運用方針	主として、アジア（日本を除きます。）各国の金融商品取引所に上場されている医療関連企業の株式（これに準ずるものを含みます。）を投資対象とする投資信託証券（投資信託または外国投資信託の受益証券（振替投資信託受益権を含みます。）および投資法人または外国投資法人の投資証券をいいます。）の一部、またはすべてに投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行ないます。
主要運用対象	「アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（ＪＰＹクラス）」受益証券 「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券 上記の投資信託証券を主要投資対象とします。
組入制限	投資信託証券、短期社債等、コマーシャル・ペーパーおよび指定金銭信託以外の有価証券への直接投資は行ないません。 外貨建資産への投資割合には、制限を設けません。
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行わないこともあります。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号
www.amova-am.com

<642681>

当運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター 電話番号：0120-25-1404
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

【運用報告書の表記について】
・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準 (分配落)	価 額			債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率	純 資 産 総 額
		税 込 分	込 配 金	騰 落 率			
	円	円	円	%	%	%	百万円
19期(2024年 6 月21日)	9,293	0	0	0.8	0.1	98.8	6,000
20期(2024年12月23日)	9,926	0	0	6.8	0.1	98.9	5,275
21期(2025年 6 月23日)	10,467	0	0	5.5	0.1	98.9	5,221
22期(2025年12月22日)	12,460	0	0	19.0	0.1	98.6	5,055
23期(2026年 6 月22日)	10,928	0	0	△12.3	0.1	98.7	4,103

(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。
(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 券 組 入 比 率	投 資 信 託 証 組 入 比 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%	%	%
2025年12月22日	12,460	—	—	0.1	98.6
12月末	12,180	△	2.2	0.1	98.7
2026年 1 月末	12,310	△	1.2	0.1	98.4
2 月末	12,677		1.7	0.1	98.8
3 月末	11,735	△	5.8	0.1	98.8
4 月末	12,109	△	2.8	0.1	98.5
5 月末	11,249	△	9.7	0.1	98.8
(期 末)					
2026年 6 月22日	10,928		△12.3	0.1	98.7

(注) 騰落率は期首比です。
(注) 当ファンドは親投資信託を組み入れますので、「債券組入比率」は実質比率を記載しております。

○運用経過

(2025年12月23日～2026年6月22日)

期中の基準価額等の推移



期 首：12,460円

期 末：10,928円 (既払分配金(税込み)：0円)

騰落率：△ 12.3% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2025年12月22日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。
- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、主として、日本を除くアジアの金融商品取引所に上場されている医療関連企業の株式を投資対象とする投資信託証券に投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。当作成期間中における基準価額の主な変動要因は、以下の通りです。

<値上がり要因>

- ・地政学およびマクロ環境の不確実性が続くなか、期間中はインドのヘルスケアセクターが相対的にディフェンシブな特性を背景に底堅く推移したこと。
- ・ボラティリティ(変動性)の高い市場環境において、中国のCRDMO(医薬品の研究、開発、製造を包括的に受託する)セクターでは、企業ごとのばらつきはみられるものの、一部の主要企業において受注残の拡大や増収増益基調が確認され、通期見通しに対する一定の信頼感が維持されたこと。

<値下がり要因>

- ・投資家の関心がA I（人工知能）関連やテクノロジー分野に集まるなかで、セクターローテーションの動きがみられ、中国および韓国の一部銘柄では利益確定の動きが観測されたことに加え、バイオテクノロジー分野はマクロ環境の不確実性や資金調達環境の影響を受けやすい特性もあり、相対的に軟調に推移したこと。

投資環境

（アジア株式市況）

期間中、アジア株式市場（日本を除く）では、A I 関連投資や半導体需要の拡大が主要な市場ドライバーの一つとなりました。特にテクノロジーセクターの比率が高い北アジア市場（韓国・台湾など）が相対的に市場の上昇を主導し、A I インフラ需要の拡大を背景としたメモリー需要の増加などを受けて、業績見通しの改善やバリュエーション（価値評価）見直しの動きがみられました。こうした環境のもと、テクノロジー関連銘柄への資金流入が続く一方で、ヘルスケアを含む一部の非テクノロジーセクターでは相対的に資金流入が鈍化する局面もみられました。

一方、2026年に入り中東情勢を巡る緊張が高まる場面がみられ、原油価格の上昇やエネルギー供給に対する懸念が市場心理に影響を与えました。こうした環境のもと、アジアの原油輸入国を中心に、エネルギー価格動向や外部環境の変化を背景として、通貨や株式市場のボラティリティが高まる場面もみられました。もっとも、これらの動きは地政学的な緊張の変化や各国の政策対応の影響を受けながら、概して流動的に推移しています。

アジアでは、中国がヘルスケア分野を政策的に重要な産業と位置付け、革新的医薬品の開発やグローバル展開の促進に向けた支援を継続しています。また、A I やロボティクスなどの先端技術との融合も進められており、創薬や医療分野における技術革新の進展が期待されています。規制面では、医薬品の迅速承認制度や価格制度の見直しなどを通じて、イノベーションの促進と医療費抑制のバランスを意識した政策運営が進められており、薬価制度や民間医療保険の活用を含む制度整備も進展しています。こうした環境のもと、中国の医薬品企業では、ライセンスアウトや共同開発を通じた海外展開の動きが継続しています。一方で、米中関係や規制動向を巡る不確実性は依然として存在しており、同セクターの投資環境については引き続き注視が必要と考えられます。

（国内短期金利市況）

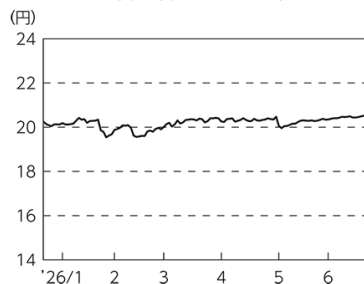
無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.73%近辺から、2026年6月の日銀金融政策決定会合において追加利上げが決定されたことなどを受けて、0.98%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（T B）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.63%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.92%近辺で期間末を迎えました。

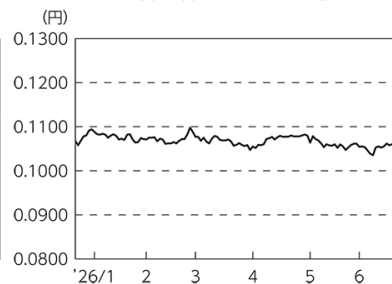
(為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、右記の推移となりました。

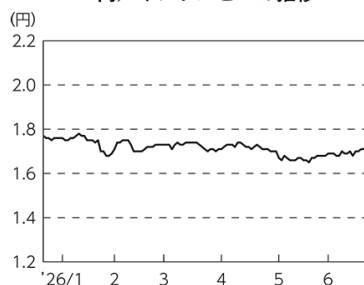
円／香港ドルの推移



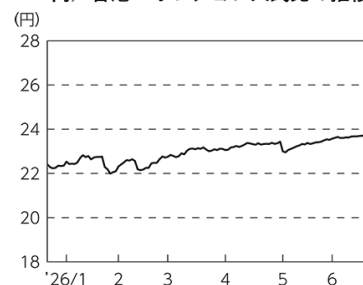
円／韓国ウォンの推移



円／インドルピーの推移



円／香港・オフショア人民元の推移



当ファンドのポートフォリオ

(当ファンド)

当ファンドは、収益性を追求するため、「アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（ＪＰＹクラス）」受益証券を高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制しました。

(アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（ＪＰＹクラス）)

期間中のアジアのヘルスケアセクターは軟調な推移となり、アジア株式市場全体（日本を除く）に対しても劣後する展開となりました。

地政学およびマクロ環境の不確実性が高まるなか、期間中のパフォーマンスにおいては、インドのヘルスケアセクターがポートフォリオの下支え要因となり、相対的に底堅い推移となりました。とりわけインドにおいては、医薬品輸出企業に加え、ＣＤＭＯ（医薬品の開発・製造受託）や病院セクターの中長期的な成長性に着目するとともに、医薬品企業については国内需要へのエクスポージャーが相対的に高い企業を選好する当ファンドの投資方針が、一定の効果を示したと考えています。

中国では、不透明感やボラティリティの高い市場環境のなかで、ＣＲＤＭＯセクターが相対的に良好なパフォーマンスを示しました。これらの企業では、業績の伸びや受注残の増加、通期見通しの維持などが確認されており、中長期的な成長期待を支える要因となっています。また、肥満症治療薬などの分野における研究開発の進展は、関連するサプライチェーン（供給網）を担うＣＲＤＭＯ企業にとって需要拡大の機会となる可能性があります。ただ、個別企業の株価動向は規制動向や資金フローの影響を受けやすく、期間中のパフォーマンス

ンスにはばらつきがみられました。一方、中国のヘルスケアセクターにおいては、CRDMO以外のサブセクターが総じて軟調な推移となる場面もみられました。米中間のバイオテクノロジー分野における規制動向や政策不透明感が意識され、グローバルな事業展開やライセンス取引の先行きに対する慎重な見方が広がりました。また、投資家の関心がAIをはじめとするテクノロジー分野へ向かうなかで、ヘルスケアを含む一部セクターでは相対的に資金流入が鈍化し、株価の上値を抑える要因となりました。韓国においても、AIやテクノロジー、防衛関連分野への関心の高まりを背景に資金の選別が進み、ヘルスケアセクターは相対的に低調なパフォーマンスとなる局面がみられました。もっとも、こうした株価動向は主としてセクターローテーションや市場環境の影響による側面が大きく、当ファンドの投資先企業のファンダメンタルズ（経済の基礎的条件）や事業見通しの変化を必ずしも直接的に反映したものではないと考えられます。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

運用の基本方針に従い、国債の購入や現先取引、コールローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

当ファンドのベンチマークとの差異

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

分配金

分配金は、基準価額水準や市況動向などを勘案し、以下の通りといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

○分配原資の内訳

(単位：円、1万口当たり、税込み)

項 目	第23期
	2025年12月23日～ 2026年6月22日
当期分配金 (対基準価額比率)	— — %
当期の収益	—
当期の収益以外	—
翌期繰越分配対象額	2,567

(注) 対基準価額比率は当期分配金（税込み）の期末基準価額（分配金込み）に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

○今後の運用方針

(当ファンド)

引き続き、「アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（ＪＰＹクラス）」受益証券を原則として高位に組み入れ、「マネー・アカウント・マザーファンド」受益証券への投資を抑制する方針です。

(アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（ＪＰＹクラス）)

ヘルスケア・バイオ・セクターを巡っては、米中間の競争が一段と意識されており、バイオテクノロジー分野も安全保障上の重要領域として位置づけられています。米国では、対中投資規制の枠組みである包括的対外投資国家安全保障法（ＣＯＩＮＳ法）の対象にバイオ分野を追加する動きがみられ、ライセンス契約や共同開発、出資などの対中取引を巡る監視が強化されつつあります。こうした環境下では、地政学的リスクや規制動向がクロスボーダー取引の不確実性を高める可能性があり、市場では同分野に対する評価や資金フローにも影響が及びやすい状況にあります。当ファンドでは、こうした不確実性を踏まえ、中国バイオ医薬品企業へのエクスポージャーを機動的に調整するとともに、相対的に地政学的リスクの影響を受けにくい市場への分散を図る方針としています。

インドの国内医薬品市場は、2023年後半にかけて一桁台の伸びにとどまった後、足元では概ね二桁成長が続いています。直近の成長は、新製品の投入や薬価調整に加え、慢性疾患向けを中心とした需要拡大などが背景にあり、販売数量の回復も寄与しています。一方、インドの医薬品輸出企業については、見通しは徐々に改善しつつあると考えられます。米国における医薬品輸入政策を巡る不透明感は引き続き残るものの、現時点ではジェネリック医薬品が関税措置の対象外とされていることから、短期的な影響は限定的とみられます。また、米国を中心とした主要市場における特許切れに伴うジェネリック医薬品の投入機会の拡大が期待されるほか、為替動向も収益に影響を与える要因となる可能性があります。

長期的な観点では、中国や韓国を中心としたアジアのバイオテクノロジー企業によるイノベーションの進展が、同セクターの重要な成長ドライバーの1つとして注目されています。また、多地域臨床試験（ＭＲＣＴ）を含むグローバル開発の進展により、アジア企業が創出したデータの国際的な評価は高まっています。こうした中、当ファンドでは4つの主要分野に注目しています。1つ目は、免疫チェックポイント阻害薬「キートルーダ」の後続となるがん治療パイプラインのデータ公表で、具体的には二重特異性抗体と抗体薬物複合体の併用の可能性です。2つ目は、肥満治療のパイプライン開発における経口剤への展開、長時間作用型注射剤の開発、筋肉量減少の予防です。3つ目は、RNA療法（遺伝物質RNAを用いて治療する医療技術）の進歩で、対象が既存の希少疾患だけでなく、有効な治療法が存在せずニーズの高い分野を含む一般的な慢性疾患にも拡大していくことが期待されます。4つ目は、開発期間短縮などに貢献するAI活用型新薬開発です。

過去10年で、アジアのヘルスケア市場は規模と構成の両面で大きく変化してきました。当ファンドが投資対象とするユニバースも大きく拡大し、かつてはインドのジェネリック医薬品企業や医薬品セクターへの集中度が高かったものの、現在では投資機会の裾野が広がっています。足元では、中国、インド、韓国を中心に地域分散が進んでいるほか、医薬品に加えて、バイオテクノロジー、ライフサイエンス、メドテック、病院・ヘルスケアサービスなど、多様なサブセクターが存在感を高めています。また、デジタルヘルスやAIを活用したヘルスケアソリューションへの期待も高まりつつあります。こうした変化により、アジアのヘルスケア市場は、地域・サブセクターの両面で、従来よりも多様な投資機会を提供する市場へと発展しているとみています。当ファンドでは、こうした構造変化とイノベーションの進展を捉え、アジア・ヘルスケア市場の中長期的な成長機会の獲得をめざして運用を行なっています。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

(マネー・アカウント・マザーファンド)

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コールローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2025年12月23日～2026年 6 月22日)

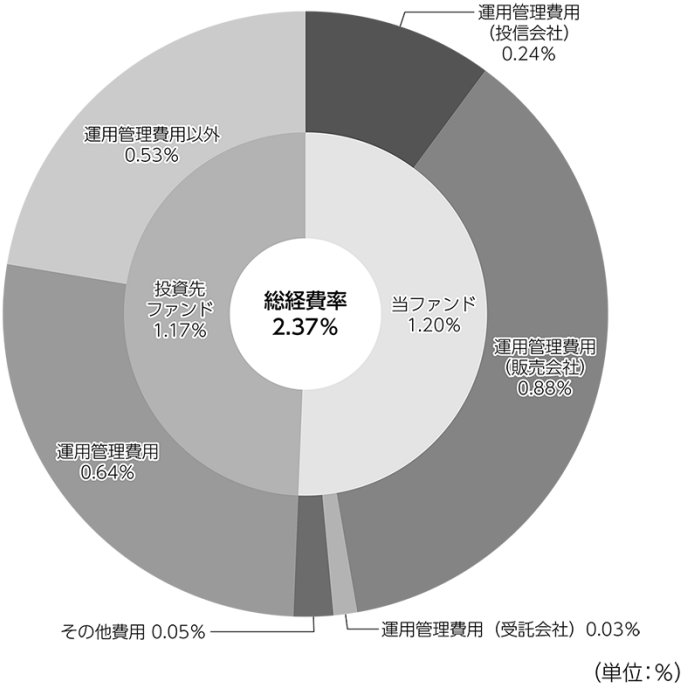
項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	円 69	% 0.576	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
(投 信 会 社)	(15)	(0.121)	委託した資金の運用の対価
(販 売 会 社)	(53)	(0.439)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
(受 託 会 社)	(2)	(0.016)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) そ の 他 費 用	3	0.027	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
(監 査 費 用)	(0)	(0.002)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
(印 刷 費 用 等)	(3)	(0.025)	印刷費用等は、法定開示資料の印刷に係る費用など
合 計	72	0.603	
期中の平均基準価額は、12,043円です。			

- (注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。
- (注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。
- (注) その他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。
- (注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。
- (注) この他にファンドが投資対象とする投資先においても信託報酬等が発生する場合があります。

(参考情報)

○総経費率

期中の運用・管理にかかった費用の総額（原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を除く。）を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は2.37%です。



総経費率(①+②+③)	2.37
①当ファンドの費用の比率	1.20
②投資先ファンドの運用管理費用の比率	0.64
③投資先ファンドの運用管理費用以外の比率	0.53

- (注) 当ファンドの費用は1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。
- (注) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。
- (注) 「その他費用」には保管費用が含まれる場合があります。なお、「その他費用」の内訳は「1万口当たりの費用明細」にてご確認ください。
- (注) 各比率は、年率換算した値です。
- (注) 投資先ファンドとは、当ファンドが組み入れている投資信託証券（親投資信託を除く。）です。
- (注) 当ファンドの費用は、親投資信託が支払った費用を含み、投資先ファンドが支払った費用を含みません。
- (注) 当ファンドの費用と投資先ファンドの費用は、計上された期間が異なる場合があります。
- (注) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率とは異なります。

○売買及び取引の状況

(2025年12月23日～2026年6月22日)

投資信託証券

銘柄		買付		売付	
		口数	金額	口数	金額
国内	アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（JPYクラス）	千口	千円	千口	千円
		—	—	270,849	372,744

(注) 金額は受け渡し代金。

親投資信託受益証券の設定、解約状況

銘柄		設定		解約	
		口数	金額	口数	金額
マナー・アカウント・マザーファンド		千口	千円	千口	千円
		—	—	687	694

○利害関係人との取引状況等

(2025年12月23日～2026年6月22日)

利害関係人との取引状況

<アジア・ヘルスケア株式ファンド>

区分	買付額等 A	うち利害関係人 との取引状況B	$\frac{B}{A}$	売付額等 C	うち利害関係人 との取引状況D	$\frac{D}{C}$
投資信託証券	百万円 —	百万円 —	% —	百万円 372	百万円 372	% 100.0

<マナー・アカウント・マザーファンド>

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人であり、当ファンドに係る利害関係人とは三井住友信託銀行株式会社です。

○第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2025年12月23日～2026年6月22日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○自社による当ファンドの設定・解約状況

(2025年12月23日～2026年6月22日)

該当事項はございません。

○組入資産の明細

(2026年6月22日現在)

ファンド・オブ・ファンズが組入れた邦貨建ファンドの明細

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末		
		口 数	口 数	評 価 額	比 率
		千口	千口	千円	%
アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド (J P Yクラス)		3,541,467	3,270,618	4,050,660	98.7
合 計		3,541,467	3,270,618	4,050,660	98.7

(注) 比率は、純資産総額に対する評価額の割合です。

親投資信託残高

銘	柄	期首(前期末)	当 期 末	
		口 数	口 数	評 価 額
		千口	千口	千円
マネー・アカウント・マザーファンド		4,751	4,063	4,104

(注) 親投資信託の2026年6月22日現在の受益権総口数は、438,928千口です。

○投資信託財産の構成

(2026年6月22日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
	千円	%
投資信託受益証券	4,050,660	98.0
マネー・アカウント・マザーファンド	4,104	0.1
コール・ローン等、その他	79,901	1.9
投資信託財産総額	4,134,665	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況 (2026年6月22日現在)

項 目	当 期 末
	円
(A) 資産	4,134,665,617
コール・ローン等	79,898,253
投資信託受益証券(評価額)	4,050,660,672
マネー・アカウント・マザーファンド(評価額)	4,104,524
未収利息	2,168
(B) 負債	31,591,614
未払解約金	3,126,002
未払信託報酬	27,196,107
その他未払費用	1,269,505
(C) 純資産総額(A－B)	4,103,074,003
元本	3,754,701,932
次期繰越損益金	348,372,071
(D) 受益権総口数	3,754,701,932口
1万口当たり基準価額(C／D)	10,928円

(注) 当ファンドの期首元本額は4,056,960,485円、期中追加設定元本額は41,196,061円、期中一部解約元本額は343,454,614円です。
(注) 1口当たり純資産額は1.0928円です。

○損益の状況 (2025年12月23日～2026年6月22日)

項 目	当 期
	円
(A) 配当等収益	284,829
受取利息	284,829
(B) 有価証券売買損益	△545,702,431
売買益	21,287,826
売買損	△566,990,257
(C) 信託報酬等	△28,465,612
(D) 当期損益金(A＋B＋C)	△573,883,214
(E) 前期繰越損益金	852,376,292
(F) 追加信託差損益金	69,878,993
(配当等相当額)	(111,825,662)
(売買損益相当額)	(△41,946,669)
(G) 計(D＋E＋F)	348,372,071
(H) 収益分配金	0
次期繰越損益金(G＋H)	348,372,071
追加信託差損益金	69,878,993
(配当等相当額)	(111,825,662)
(売買損益相当額)	(△41,946,669)
分配準備積立金	852,376,292
繰越損益金	△573,883,214

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。
(注) 損益の状況の中で(C)信託報酬等には信託報酬に対する消費税等相当額を含めて表示しています。
(注) 損益の状況の中で(F)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 分配金の計算過程 (2025年12月23日～2026年6月22日) は以下の通りです。

項 目	2025年12月23日～ 2026年6月22日
a. 配当等収益(経費控除後)	0円
b. 有価証券売買等損益(経費控除後・繰越欠損金補填後)	0円
c. 信託約款に定める収益調整金	111,825,662円
d. 信託約款に定める分配準備積立金	852,376,292円
e. 分配対象収益(a＋b＋c＋d)	964,201,954円
f. 分配対象収益(1万口当たり)	2,567円
g. 分配金	0円

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上処理しています。

○分配金のお知らせ

1 万口当たり分配金（税込み）	0円
-----------------	----

○お知らせ

約款変更について

2025年12月23日から2026年 6 月22日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、「一般社団法人投資信託協会」の合併に伴ない、その記載を「一般社団法人資産運用業協会」に変更すべく、2026年 4 月 1 日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。（付表、第 8 条）

当ファンドの主要投資対象先の直近の運用状況について、法令および諸規則に基づき、次ページ以降にご報告申し上げます。

種類・項目	アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド（ＪＰＹクラス）	
	シンガポール籍円建外国投資信託	
運用の基本方針		
基本方針	信託財産の中長期的な成長を目指します。	
主な投資対象	日本を除くアジアの医療関連企業の株式（預託証書を含みます。）を主要投資対象とします。	
投資方針	・日本を除くアジアの医療関連株式（預託証書を含みます。）を主要投資対象とします。 ・運用にあたっては、ボトムアップの企業分析とトップダウンのマクロ見通しを融合して、ポートフォリオを構築します。	
主な投資制限	・株式への投資割合に制限を設けません。 ・一の発行体に対する投資割合は、原則として信託財産の純資産総額の10%以下とします。 ・外貨建資産への投資割合には制限を設けません。 ・証券の空売りは行ないません。	
収益分配	原則として、毎年6月12日と12月12日（休日の場合は翌営業日）に分配を行ないます。 なお、運用会社の判断により収益分配を行なわないことがあります。	
ファンドに係る費用		
信託報酬など	純資産総額に対して年率0.65% （国内における消費税等相当額はかかりません。）	
申込手数料	ありません。	
信託財産留保額	ありません。	
その他の費用など	事務管理費用、資産の保管費用、有価証券売買時の売買委託手数料、設立に係る費用、法律顧問費用、監査費用、信託財産に関する租税など。	
その他		
運用会社	アモーヴァ・アセットマネジメント・アジアリミテッド	
信託期間	無期限	
決算日	原則として、毎年12月末日	

◆ポートフォリオ明細表

アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド

2025年12月31日現在

地域別（第一区分）	数量	公正価値 シンガポール・ドル	受益者に帰属 する純資産に 占める割合 %
上場株式			
中国			
Akeso Incorporated	70,000	1,306,911	3.29
Cansino Biologics Incorporated	58,800	339,251	0.85
Duality Biotherapeutics Incorporated	8,400	413,863	1.04
Hangzhou Tigermed Consulting Company Limited	70,800	497,623	1.25
Hansoh Pharmaceutical Group Company Limited	302,000	1,800,293	4.53
Innovent Biologics Incorporated	201,500	2,538,543	6.38
JD Health International Incorporated	94,300	864,718	2.17
Jiangsu Hengrui Pharmaceuticals Company Limited	94,517	1,037,357	2.61
Shenzhen Mindray Bio-Medical Electronics Company Limited	22,900	803,540	2.02
WuXi AppTec Company Limited - A	49,000	818,289	2.06
WuXi AppTec Company Limited - H	57,600	939,311	2.36
WuXi Biologics Cayman Incorporated	345,000	1,792,137	4.50
WuXi XDC Cayman Incorporated	24,500	245,913	0.62
中国合計		13,397,749	33.68
香港特別行政区			
China Medical System Holdings Limited	447,000	952,724	2.40
香港特別行政区合計		952,724	2.40
インド			
Apollo Hospitals Enterprise Limited	8,902	895,673	2.25
Cipla Limited/India	40,313	869,878	2.19
Divi's Laboratories Limited	24,445	2,235,855	5.62
Dr Reddy's Laboratories Limited	39,972	727,603	1.83
Entero Healthcare Solutions Limited	14,035	204,469	0.51
Krishna Institute of Medical Sciences Limited	42,878	373,379	0.94
Mankind Pharma Limited	19,974	624,481	1.57
Max Healthcare Institute Limited	67,961	1,016,250	2.55
Rainbow Children's Medicare Limited	21,051	397,283	1.00
Sun Pharmaceutical Industries Limited	89,519	2,203,062	5.54
Torrent Pharmaceuticals Limited	25,317	1,388,861	3.49
インド合計		10,936,794	27.49
マレーシア			
KPJ Healthcare Berhad	618,600	527,339	1.33
マレーシア合計		527,339	1.33
シンガポール			
Ultragreen.AI Limited	391,800	760,825	1.91
シンガポール合計		760,825	1.91

地域別（第一区分）（続き）

	数量	公正価値 シンガポール・ドル	受益者に帰属 する純資産に 占める割合 %
上場株式（続き）			
韓国			
Alteogen Incorporated	3,503	1,405,674	3.53
Celltrion Incorporated	8,027	1,297,020	3.26
D&D Pharmatech Incorporated	3,500	286,831	0.72
Nextbiomedical Company Limited	7,461	595,455	1.50
Pharmaresearch Company Limited	1,092	392,864	0.99
Samsung Biologics Company Limited	2,236	3,383,422	8.50
St Pharm Company Limited	7,176	763,613	1.92
韓国合計		8,124,879	20.42
タイ			
Bangkok Dusit Medical Services Public Company Limited	947,800	746,685	1.88
Praram 9 Hospital Public Company Limited	554,300	423,107	1.06
タイ合計		1,169,792	2.94
米国			
Beone Medicines Limited	67,600	2,002,611	5.03
米国合計		2,002,611	5.03
上場株式合計		37,872,713	95.20
非上場株式			
中国			
China Animal Healthcare Limited	1,246,000	-	-
中国合計		-	-
非上場株式合計		-	-
投資ポートフォリオ		37,872,713	95.20
その他純資産		1,909,083	4.80
受益者に帰属する純資産		39,781,796	100.00

地域別（要約）	受益者に帰属 する純資産に 占める割合 %
上場株式	
中国	33.68
香港特別行政区	2.40
インド	27.49
インドネシア	-
マレーシア	1.33
シンガポール	1.91
韓国	20.42
タイ	2.94
米国	5.03
上場株式合計	95.20
投資ポートフォリオ	95.20
その他純資産	4.80
受益者に帰属する純資産	100.00

業種別（第二区分）

	公正価値 シンガポール・ドル	受益者に帰属 する純資産に 占める割合 %
バイオテクノロジー	10,230,514	25.72
商業サービス	497,623	1.26
ヘルスケア - 製品	2,351,719	5.91
ヘルスケア - サービス	7,929,453	19.93
医薬品	15,237,861	38.30
小売	864,718	2.17
ソフトウェア	760,825	1.91
投資ポートフォリオ	37,872,713	95.20
その他純資産	1,909,083	4.80
受益者に帰属する純資産	39,781,796	100.00

◆損益計算書

アモーヴァ・アジア・ヘルスケア・ファンド

2025年12月31日に終了した会計年度

2025年
シンガポール・ドル

収益

受取配当	284,711
現金および現金同等物に係る利息	288
	<u>284,999</u>

費用

運用報酬	261,418
名義書換代理人報酬	2,459
受託者報酬	12,172
保管報酬	17,469
監査報酬	31,019
評価報酬	16,229
取引費用	134,930
その他費用	57,944
	<u>533,640</u>

純損失

(248,641)

投資に係る純利益（損失）

投資に係る純利益	6,867,237
純為替差損	(152,155)
	<u>6,715,082</u>

税引前当期利益合計

6,466,441

所得税

(34,948)

税引後当期利益合計

6,431,493

マネー・アカウント・マザーファンド

運用報告書

第16期（決算日 2025年10月14日）
（2024年10月16日～2025年10月14日）

当ファンドの仕組みは次の通りです。

信託期間	2009年10月30日から原則無期限です。
運用方針	公社債への投資により、安定した収益の確保をめざして安定運用を行ないます。
主要運用対象	わが国の国債および格付の高い公社債を主要投資対象とします。
組入制限	株式への投資は行ないません。 外貨建資産への投資は行ないません。

ファンド概要

主として、わが国の国債および格付の高い公社債に投資を行ない、利息等収益の確保をめざして運用を行ないます。ただし、市況動向に急激な変化が生じたとき、ならびに残存信託期間、残存元本が運用に支障をきたす水準となったときなどやむを得ない事情が発生した場合には、上記のような運用ができない場合があります。

アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社

<636843>

【運用報告書の表記について】

・原則として、各表の数量、金額の単位未満は切捨て、比率は四捨五入で表記しておりますので、表中の個々の数字の合計が合計欄の値とは一致しないことがあります。ただし、単位未満の数値については小数を表記する場合があります。

○最近 5 期の運用実績

決 算 期	基 準	価 額		債 組 入 比 率	純 資 産 額
		期 騰 落	中 率		
	円		%	%	百万円
12期(2021年10月12日)	10,023	△0.0		—	1,125
13期(2022年10月12日)	10,022	△0.0		—	560
14期(2023年10月12日)	10,018	△0.0		—	458
15期(2024年10月15日)	10,023	0.0		61.8	437
16期(2025年10月14日)	10,057	0.3		60.3	431

(注) ファンドの商品性格に適合する適切なベンチマークおよび参考指数はございません。

○当期中の基準価額と市況等の推移

年 月 日	基 準	価 額		債 組 入 比 率	券 率
		騰 落	率		
(期 首)	円		%		%
2024年10月15日	10,023	—		61.8	
10月末	10,024	0.0		123.6	
11月末	10,025	0.0		123.6	
12月末	10,026	0.0		62.0	
2025年1月末	10,027	0.0		124.0	
2月末	10,030	0.1		62.1	
3月末	10,033	0.1		63.0	
4月末	10,037	0.1		125.4	
5月末	10,040	0.2		61.9	
6月末	10,044	0.2		61.7	
7月末	10,047	0.2		122.4	
8月末	10,051	0.3		61.1	
9月末	10,055	0.3		60.2	
(期 末)					
2025年10月14日	10,057	0.3		60.3	

(注) 騰落率は期首比です。

○運用経過

(2024年10月16日～2025年10月14日)

基準価額の推移

期間の初め10,023円の基準価額は、期間末に10,057円となり、騰落率は+0.3%となりました。

基準価額の変動要因

期間中、基準価額に影響した主な要因は以下の通りです。

<値上がり要因>

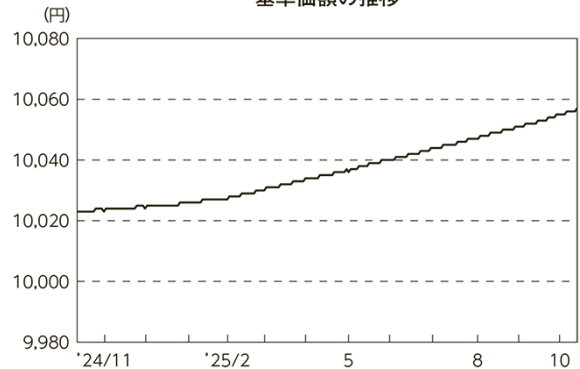
- ・利息収入などを得たこと。

(国内短期金利市況)

無担保コール翌日物金利は、期間の初めの0.23%近辺から、2025年1月の日銀金融政策決定会合において追加利上げが決定されたことを受けて、0.48%近辺で期間末を迎えました。

国庫短期証券（TB）3ヵ月物金利は、期間の初めの0.00%近辺から、日銀による利上げなどを受けて、0.43%近辺で期間末を迎えました。

基準価額の推移



期 首	期中高値	期中安値	期 末
2024/10/15	2025/10/14	2024/10/16	2025/10/14
10,023円	10,057円	10,023円	10,057円

ポートフォリオ

運用の基本方針に従い、国債の購入や現先取引、コール・ローンや金銭信託などを通じて、元本の安全性を重視した運用を行ないました。

○今後の運用方針

引き続き、安定した収益の確保をめざして安定運用を行なう方針です。主な投資対象は原則として、わが国の国債および格付の高い公社債とし、それらの現先取引なども活用する方針です。また、コール・ローンや金銭信託などに投資することもあります。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

○ 1 万口当たりの費用明細

(2024年10月16日～2025年10月14日)

該当事項はございません。

○ 売買及び取引の状況

(2024年10月16日～2025年10月14日)

公社債

		買 付 額	売 付 額
国		千円	千円
内	国債証券	1,329,265	—
			(1,340,000)

(注) 金額は受け渡し代金。(経過利子分は含まれておりません。)

(注) ()内は償還による減少分です。

○ 利害関係人との取引状況等

(2024年10月16日～2025年10月14日)

該当事項はございません。

利害関係人とは、投資信託及び投資法人に関する法律第11条第1項に規定される利害関係人です。

○ 第一種金融商品取引業、第二種金融商品取引業又は商品取引受託業務を兼業している委託会社の自己取引状況 (2024年10月16日～2025年10月14日)

該当事項はございません。また委託会社に売買委託手数料は支払われておりません。

○ 組入資産の明細

(2025年10月14日現在)

国内公社債

(A) 国内(邦貨建)公社債 種類別開示

区 分	当 期 末						
	額 面 金 額	評 価 額	組 入 比 率	うちBB格以下 組 入 比 率	残存期間別組入比率		
					5年以上	2年以上	2年未満
	千円	千円	%	%	%	%	%
国債証券	260,000	259,957	60.3	—	—	—	60.3
合 計	260,000	259,957	60.3	—	—	—	60.3

(注) 組入比率は、純資産総額に対する評価額の割合。

(注) 評価については金融商品取引業者、価格情報会社等よりデータを入手しています。

(B)国内(邦貨建)公社債 銘柄別開示

銘柄	当 期 末			
	利 率	額 面 金 額	評 価 額	償 還 年 月 日
国債証券	%	千円	千円	
第454回利付国債（2年）	0.1	260,000	259,957	2025/11/1
合 計		260,000	259,957	

○投資信託財産の構成

(2025年10月14日現在)

項 目	当 期 末	
	評 価 額	比 率
公社債	千円 259,957	% 60.2
コール・ローン等、その他	171,542	39.8
投資信託財産総額	431,499	100.0

(注) 比率は、投資信託財産総額に対する割合です。

○資産、負債、元本及び基準価額の状況

(2025年10月14日現在)

項	目	当	期	末
				円
(A) 資産				431,499,255
	コール・ローン等			171,421,447
	公社債(評価額)			259,957,300
	未収利息			54,974
	前払費用			65,534
(B) 負債				162,885
	未払解約金			162,885
(C) 純資産総額(A－B)				431,336,370
	元本			428,906,307
	次期繰越損益金			2,430,063
(D) 受益権総口数				428,906,307口
	1万口当たり基準価額(C/D)			10,057円

(注) 当ファンドの期首元本額は436,053,084円、期中追加設定元本額は34,636,551円、期中一部解約元本額は41,783,328円です。

(注) 2025年10月14日現在の元本の内訳は以下の通りです。

・グローバル・プロスペクティブ・ファンド	237,562,073円	・アジアリートファンド(毎月分配型)	1,625,705円
・中華圏株式ファンド(毎月分配型)	42,240,292円	・全世界超分散株式ファンド	1,451,771円
・グローバルC o C o債ファンド(為替ヘッジあり・毎月分配型)	33,158,876円	・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<米ドル・コース>(毎月分配型)	1,266,581円
・グローバルC o C o債ファンド(為替ヘッジなし・毎月分配型)	24,353,849円	・アジアR E I Tオープン(毎月分配型)	859,538円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド(マナーブルファンド)	11,094,146円	・エマージング・プラス・円戦略コース	550,392円
・エマージング・プラス(マナーブルファンド)	9,837,087円	・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジあり	311,388円
・アジア社債ファンド Bコース(為替ヘッジなし)	7,615,170円	・グローバルC o C o債ファンド(為替ヘッジあり・1年決算型)	293,617円
・資源株ファンド 通貨選択シリーズ<ブラジルレアル・コース>(毎月分配型)	5,774,595円	・世界標準債券ファンド(1年決算型)	240,262円
・エマージング・ハイ・イールド・ボンド・ファンド・ブラジルレアルコース	5,629,859円	・上場インデックスファンド海外新興国株式(MSCIエマージング)	99,902円
・インデックスファンドMLP(毎月分配型)	5,510,261円	・グローバルC o C o債ファンド(為替ヘッジなし・年4回分配型)	23,544円
・世界標準債券ファンド	4,835,693円	・グローバルC o C o債ファンド(為替ヘッジあり・年4回分配型)	22,311円
・アジア・ヘルスケア株式ファンド	4,751,226円	・上場インデックスファンド海外先進国株式(MSCI-KOKUSAI)	19,997円
・ビッグデータ新興国小型株ファンド(1年決算型)	4,746,016円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500)	19,983円
・グローバル株式トップフォーカス	4,366,021円	・上場インデックスファンド豪州リート(S&P/ASX200 A-REIT)	19,977円
・グローバルC o C o債ファンド(為替ヘッジなし・1年決算型)	3,880,920円	・上場インデックスファンド新興国債券	9,981円
・DC世界株式・厳選投資ファンド	3,465,233円	・上場インデックスファンドフランス国債(為替ヘッジなし)	9,979円
・インド株式フォーカス(奇数月分配型)	2,520,790円	・上場インデックスファンドフランス国債(為替ヘッジあり)	9,979円
・エマージング・プラス・成長戦略コース	2,517,156円	・上場インデックスファンド豪州国債(為替ヘッジあり)	9,978円
・ビムコUSハイインカム・ローン・ファンド(毎月分配型) 為替ヘッジなし	2,376,905円	・上場インデックスファンド豪州国債(為替ヘッジなし)	9,978円
・グローバル・ダイナミックヘッジα	2,066,554円	・上場インデックスファンド米国株式(S&P500) 為替ヘッジあり	9,967円
・インデックスファンドMLP(1年決算型)	1,944,657円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジなし)	9,958円
・アジア社債ファンド Aコース(為替ヘッジあり)	1,774,182円	・上場インデックスファンド米国債券(為替ヘッジあり)	9,958円

(注) 1口当たり純資産額は1.0057円です。

○損益の状況

(2024年10月16日～2025年10月14日)

項	目	当	期
			円
(A)	配当等収益		743,589
	受取利息		743,589
(B)	有価証券売買損益		690,355
	売買益		759,798
	売買損	△	69,443
(C)	当期損益金(A+B)		1,433,944
(D)	前期繰越損益金		1,002,224
(E)	追加信託差損益金		129,505
(F)	解約差損益金	△	135,610
(G)	計(C+D+E+F)		2,430,063
	次期繰越損益金(G)		2,430,063

(注) 損益の状況の中で(B)有価証券売買損益は期末の評価換えによるものを含みます。

(注) 損益の状況の中で(E)追加信託差損益金とあるのは、信託の追加設定の際、追加設定をした価額から元本を差し引いた差額分をいいます。

(注) 損益の状況の中で(F)解約差損益金とあるのは、中途解約の際、元本から解約価額を差し引いた差額分をいいます。

上記各資産の評価基準及び評価方法、また収益及び費用の計上区分等については、法律及び諸規則に基づき、一般に公正妥当と認められる企業会計の基準に準拠して評価計上し処理しています。

○お知らせ

約款変更について

2024年10月16日から2025年10月14日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

- 当ファンドについて、2025年9月1日付けにて信託約款の一部に所要の変更を行ないました。
 - ①委託会社である当社がその社名を「日興アセットマネジメント株式会社」から「アモーヴァ・アセットマネジメント株式会社」に変更いたしました。(第1条、第6条)
 - ②法定運用報告書の交付は行なわない旨を定めている規定につき、投資信託及び投資法人に関する法律第14条の改正に即した記載に変更するべく、変更を行ないました。(第45条)
 - ③当社の社名変更に伴ない、電子公告を掲載する当社ホームページのURLを「www.nikkoam.com/」から「www.amova-am.com」に変更いたしました。(第47条)